

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2016年4週の県全体の定点当たり報告数は、3週の14.13から増加し29.16となった。年明け以降2倍以上の増加が続いており、今後の流行状況に注意が必要である。

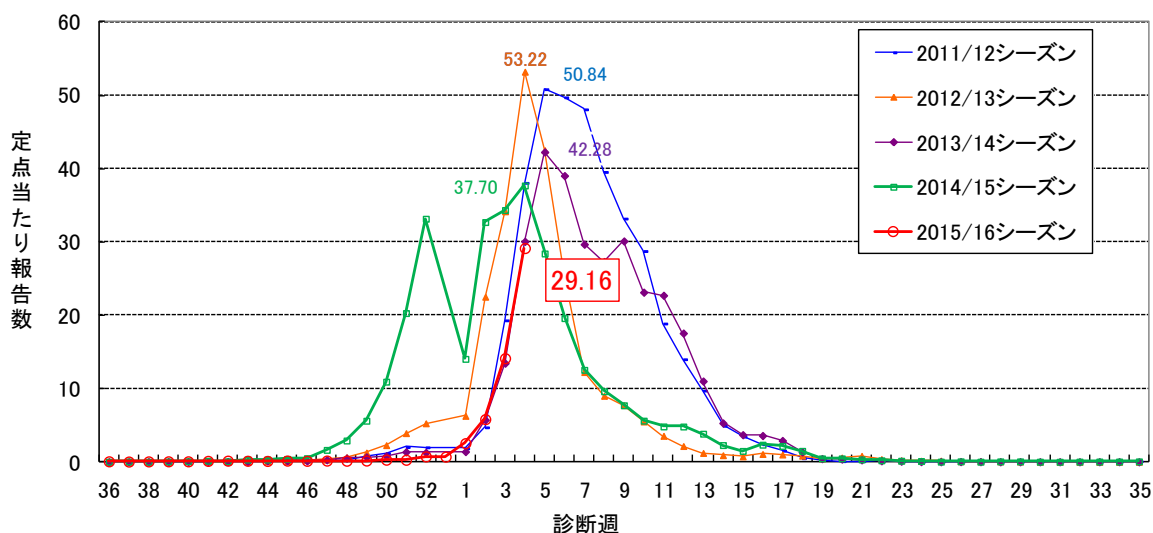
保健所別では、16保健所中全ての保健所管内で増加し、8保健所管内で国の定める警報基準値(30)を超えた。船橋市(37.41)、長生(37.00)、習志野(36.94)、市原(36.00)、松戸(35.72)、君津(34.08)、印旛(33.04)、千葉市(30.18)が多かった。

2015/16シーズン全体の年齢群別報告割合は、5～9歳が37.0%、0～4歳が18.1%、10～14歳が14.5%であった。

2015/16シーズン全体の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、11,085例中A型8,361例(75.4%)、B型2,652例(23.9%)、A and B型25例(0.2%)、A or B型47例(0.4%)であった。

平成27年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数



インフルエンザ

